



## 特集1.3

### 会員からご寄稿いただいた取組の紹介

# 「AICHI Free Wi-Fi Connect」 ～アプリで既存のフリーWi-Fiを有効活用 【愛知県】

## 1. 目的と概略

観光庁の2017年訪日外国人消費動向調査によると、訪日外国人が日本滞在中に得た旅行情報源としてはインターネット（スマートフォン）が69.9%と最多であり、外国人旅行者の快適な滞在のためにはフリーWi-Fi等の通信環境の確保が重要です。愛知県内には、東京・大阪に次ぐ約41,000の多数のアクセスポイント（以下AP）があるにも関わらず、愛知県訪日外客動向調査では外国人旅行者からのフリーWi-Fiに関する不満が多くあげられました。

不満の原因としては、次のことが推測され、整備済みのAPが有効活用されていない可能性が考えられました。

- ① 外国人旅行者が利用可能なフリーWi-Fiを見つけられない。
- ② 接続の手続きの案内が日本語しかない。
- ③ OSの設定画面では、安心・安全に使えるSSIDがどれか、わかりやすい表示がされない。
- ④ 複数の大手民間事業者によるフリーWi-FiのAPが混在し、アプリなどの接続方式が異なり全体を網羅することは難しい。

また、総務省の「熊本地震における被災地のWi-Fi利用状況等に係る調査研究」（2017年3月）によると、大規模災害時に、通信事業者が開放したフリーWi-Fiについて、外国人による利用がほとんどなく、地域の事情をよく把握できない一時的に滞在する外国人旅行者に対し、情報収集の手段が必要であることが明らかになりました。

そこで愛知県では、外国人旅行者がフリーWi-Fiを簡単に把握・接続することができ、災害時にも利用可能な多言語アプリを開発することとしました。開発にあたっては、通信事業者の協力が不可欠なため、県内のフリーWi-Fi環境の整備促進等を図る目的で設立された、官・民が連携した組織である「あいち無料公衆無線LAN推進協議会」（以下協議会、平成27年7月1日設立）に協力を仰ぎました。そして協議会会員である通信事業者（NTT西日本、エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム、ソフトバンク、ワイヤ・アンド・ワイヤレス（KDDI系））の協力の下、各事業者のフリーWi-Fiの接続方式を公平に採用する新しいアプリを開発しました。

これにより、既存のAPを活用して外国人旅行者が簡単にフリーWi-Fiを見つけることができ、災害時の情報収集も支援できる体制を構築することができました。



## 2. 先進的な優良事例紹介

### 2.1 事業概要

このアプリは、既存の旅行関係アプリ「ココシル」（開発・ユーシーテクノロジー株式会社、事業委託先・株式会社日本旅行）にフリーWi-Fi接続の機能を加え、名称を「Aichi Free Wi-Fi Connect」としてリリースしました＊。本アプリでは、大手通信事業者のうち、NTT系・KDDI系

は、それぞれの既存のアプリを起動してフリーWi-Fiに接続します。アプリ方式ではないソフトバンク系については、Webから接続できるような仕組みを用い、各社の方式を平等に採用しています。なお、接続機能を最大限活用するため、NTT系、KDDI系のフリーWi-Fiアプリは、「ココシル」アプリと合わせてダウンロードすることを推奨しています。

アプリには、フリーWi-Fiの提供事業者毎に色分けされた「外国人旅行者が利用可能なフリーWi-FiのSSIDのみ」を表示し、それをタップすることで通信環境が確保でき、簡単に利用できます。また、一度接続のための認証を行うと、場所を移動しても再認証の必要なく接続することが可能です。

さらに災害時には、通信事業者等が無料で開放する「0000JAPAN」を優先的に表示し、接続に繋げることで、外国人旅行者の情報収集の支援も行います。

また、今年度愛知県が開設した、多言語で観光に関する案内を行う「愛知県多言語コールセンター」はIP電話を使って通訳サービスを行いますが、IP電話での通話は通信環境があることが大前提であるため、本アプリで通信を繋げた上で、アプリ内に表示されるコールセンターのボタンから通話を発信できる仕組みを構築しています。コールセンターも災害時の対応が可能であることから、事業間で相互に連携を図り、県内の周遊促進、安心・安全を提供する役割も担っています。

※2019年9月20日にAndroid版を先行リリース。iOS版は開発中（2020年1月末時点）。

## 2. 2 コラム

### (1) サービスイメージやシステム構成

#### 【アプリ使用方法】

Google Playから「ココシル」アプリをダウンロードし、「AICHI Free Wi-Fi Connect」を選択。

- ① 「AICHI Free Wi-Fi Connect」を起動
- ② 「Wi-Fi Connection」ボタンをクリックすると、その場のフリーWi-Fiの使用の可否（APの有無）を表示。
- ③ 使用可能な場合は接続ボタンを押すと、NTT系またはKDDI系のフリーWi-Fi認証
- ④ 連携アプリが起動し、フリーWi-Fiに接続。

※認証連携に対応するフリーWi-Fi同士であれば、APエリアを移動しても通常必要とされるメールアドレス等の登録手続を逐一行う必要がなく、上記のような簡易な手順でのフリーWi-Fiへの接続が可能となる。（アプリDL後初回利用時の登録手続を除く）

※先行リリース中であるAndroid版の仕様を記載。

〈Aichi Free Wi-Fi Connect 画面〉



★提供元の通信事業者別にSSIDの色を分けて表示、NTT系、KDDI系はSSID名をタップすると既存のアプリを起動し、通信を確保。ソフトバンク系は、アプリを使用しない独自方式で接続。

- NTT系 Japan Connected-free Wi-Fi を起動
- KDDI系 TRAVEL JAPAN Wi-Fi を起動
- ソフトバンク系 専用電話番号（無料）に電話してパスワードを取得



## 特集1.3

### 会員からご寄稿いただいた取組の紹介

#### (2) 事業展開による効果・成果

この事業を行うことによって、以下の課題解決を図ることができました。

〈地域の課題解決のイメージ〉

- ① 県内に整備された約 41,000 のフリーWi-Fi AP の有効活用
  - ・ 外国人旅行者が利用可能な SSID のみ表示
  - ・ 多言語対応（英、中（簡体字・繁体字）、韓、タイ）
  - ・ 場所を移動しても再認証の必要なし
- ② インターネット環境の確保による観光案内等を行う  
愛知県多言語コールセンターの円滑な利用や  
キャッシュレス決済の促進



- ③ 通信環境の確保による災害時の情報収集支援
  - ・ 災害発生時に通信会社等が無料で開放する 00000JAPAN を SSID 表示画面のトップに表示し、接続を促すことで国等が発信する災害関連情報の収集を支援



#### (3) 事業展開のポイント

##### ◆ 官民の協力体制

本事業を遂行するに当たり、不可欠であったのが官・民の協力です。

外国人旅行者向けのフリーWi-Fiは、各大手通信事業者が独自の方式で提供しています。通常その方式を統合する場合は、1社の方式に他の社があわせる形で限定的に行われることから、基準とならない社からの不満が大きくなります。

当地域は他地域と異なり、突出した通信事業者がなく、例えば、今回の協力事業者のうち1社だけのSSIDに対応するアプリでは、名古屋市内等主要な地域をカバーできません。協力事業者3社を合わせて、はじめて地域全体の約90%のフリーWi-Fiがカバーできるため、3社全てを一度に表示でき、接続に繋げる機能が不可欠でした。

各事業者のフリーWi-Fiへの接続方式を公平に採用する機能は、ありそうでなかったものです。

##### ◆ 地元大学との連携

協議会に加え、Wi-Fi分野、多言語アプリ開発分野に実績を持つ、地元大学の専門家（名古屋大学・村瀬勉教授、愛知県立大学・河中治樹准教授、名古屋文理大学・長谷川旭係長）にも、アプリの機能についてアドバイスをいただいています。また、地元大学に所属する短期留学生にアプリの試用もお願いしています。

##### ◆ 他事業との連携

本アプリには、SSID情報の他にも、多言語コールセンター（9言語対応）や、愛知県観光公式ウェブ

ブサイト（5言語対応）、お天気情報や交通機関をまとめたサイトへのボタンも搭載されており、単なるインターネット環境の利便性に留まらず、愛知県を観光する旅行者に必要な情報を総合的に提供できます。

#### ◆ 愛知県外での利用

このアプリは当初、愛知県内だけの利用を想定していましたが、事業者の協力で日本国内での利用も可能（愛知県内に限定のSSIDもあり）となりました。また、他の自治体も情報発信等で活用しているココシルという旅行関係アプリをベースに構築したため、既に当該アプリをダウンロードしているユーザーがアップデートした際は、本アプリのフリーWi-Fi接続機能も利用することができます。

### 2. 3 今後の課題と展開

ラグビーワールドカップの開催に合わせ、世界シェアの大きいAndroid版を先行リリースしましたが、iOS版についても開発を進めています。

今後は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技会を筆頭に、当地でも2026年のアジア競技大会等の世界的なイベントが開催され、外国人旅行者の増加が見込まれます。本アプリと愛知県多言語コールセンターを併せて世界中に広報していくことで、利用の周知を図っていきます。また、事業の周知を通して、当地域の観光地としての認知度向上と受入環境の整備を進め、さらなる誘客促進を図っていきます。

### 2. 4 導入費・維持経費

非公開

ポスター



パンフレット



#### 【問い合わせ先】

- ・団体 愛知県観光コンベンション局国際観光コンベンション課  
〒460-8501  
愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2
- ・電話番号／052-954-6476
- ・e-mail：kokusa-kanko@pref.aichi.lg.jp